

(解雇予告手当)

請求の趣旨【前記記載のとおり】

1 被告は、原告に対し、次の金額を支払え。

(1) 金_____円

(2) (1)の金額【のうち金_____円】に対する【____年____月____日
本訴状送達の日翌日】から支払済みまで年____パーセントの割合による金員

2 訴訟費用は被告の負担とする。

との判決【及び仮執行宣言】を求める。

請求の原因（紛争の要点）

1 原告は、被告に____年____月____日雇用され、仕事（_____）
_____）をしていたが、____年____月____日に解雇を通告され、
【即日 ____年____月____日】解雇された。

2 支払われるべき解雇予告手当金は以下のとおりとなる。

(1) 賃金の支払条件

賃金締切日 ____日締め 無 の 【当 翌】月____日払い 不定期払い で、

賃金額 月給 日給 時給 歩合給 【約】_____円であった。

(2) 平均賃金額（最低保障賃金額を適用，以下同じ）の算出

本件において，平均賃金算定期間は，____年____月____日から，____
____年____月____日までの 暦日 実働 a…____日間であり，その期間に

支払われた 支払われるべき 賃金総額は，b…_____円である。よって，

平均賃金は， $b \div a$ 【×60/100】 = c…_____円_____銭（以下切捨）となる。

(3) 解雇予告手当金の算出

解雇通告日から解雇日までは，d…____日であり，支払われるべき解雇予告手当金
は， $c \times (30 - d) =$ _____円（円未満四捨五入）となる。

3 よって，原告は，被告に対し，_____円【及び遅延損害金】
_____の支払を求める。